

取組事例

(**所定外労働削減**・**年休取得促進**・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)



企業名：株式会社PFU	所在地：石川県かほく市
社員数：約4,600名	業種：製造業

取組の目的：

労使が同じ意識で休暇取得促進、所定外労働削減に取り組み、職員全員が明るく、健康である職場環境を目指す。

取組の概要：

〈現在の取組〉

- 年次有給休暇については、四半期ごとに、社員全員が取得予定を組み、確実な実施に取り組んでいる。また、あらかじめ、全社的な年間の「年次休暇取得促進日」（平成27年度においては年間16日を労使で設定）を決め、全社員に促進日を明記したカードカレンダーを配布し、休暇取得しやすい環境を作っている。
- 所定外労働の削減について、週2日を「定時退社日」とし、一斉放送、社内イントラネットで周知を行っているほか、給料日・ボーナス日も定時退社日とし、全社的に取り組んでいる。
- 休暇取得促進、所定外労働削減に向けた職場環境の改善のため、自社開発のスキナーを活用し、全社的に保存書類の電子化に取り組んでおり（2014年に移転した横浜本社事務所では書類を92%削減）、“書類を確認する時間”の低減を実現している。
- 部署ごとに、所属社員が業務改善、環境改善等に向けた提案や検討を行う“シャインタイム”（毎週木曜日15:00～17:00を推奨。運用は各部門に委任）を設けている。
- 社員に対して、“健康に働いてほしい”“休日も健康で有効に過ごしてほしい”との考えから、社長自らが「健康宣言」を行うとともに、社員がウォーキング、ジョギングを実施することでマイレージが貯まる「健康マイレージ」制度を実施している（積極的な参加者に「奨励賞＝賞品」を授与）。

現状とこれまでの取組の効果：

- 近年では、年休取得率は平均で6～7割程度を維持しており、全社的に3割（6日程度）を下回る社員はいない。
- 定時退社についても、複数の制度の実施により、意識が浸透してきている。